

パソコンいわくら教室新聞

パソコンを使うとき、必ず行う操作「文字入力」。キーボードを叩けば文字が表示されます。入力や文字変換、日本語入力システムをもっと使ってみよう。

日本語入力システム

普段から何気にパソコンに向かって文字を入力していると思いますが、不自由はないでしょうか。私たちの使うパソコンには日本語が入力・表示できるように日本語入力システムが備わっています。Windowsパソコンの標準ソフトは「IME」といいます。文書作成、メールを作る、情報を検索する…パソコンでの作業にはこの「IME」による文字入力が欠かせない作業になっています。その作業をできるだけ効率よく行いたいものです。

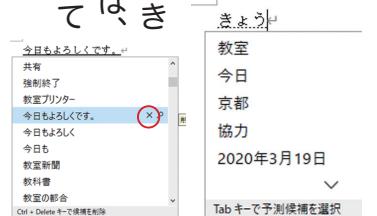
① 日本語入力のON/OFF

半角の英数記号のみを入力する場合は「日本語OFF」、日本語を使う場合は「日本語ON」で使用します。切り替えは「半角／全角」、「英数」ボタンで行います。状態は右下の「IME」の表示で確認できます。



② 予測変換

入力を始めると、その文字に応じた言葉を表示してくれます。今までの入力履歴やよく使われる言葉が候補として表示されます。選択は「Tab」キーを使って行います。不要な変換候補は右に表示されると、×をクリックすると削除できます。予測変換によらない場合は、従来通り「スペース」キーを押して変換候補を表示しましょう。



③ 漢字以外に変換する

入力した文字を「ひらかな」「カタカナ」「英字」など漢字以外に変換する場合、ファンクションキーを使用すれば簡単に変換できます。

日本語入力システムを便利に使えば文書作成の手助けになってくれます。

普段から慣れておきましょう。

F10 F9 F8 F7 F6
- 半角英数字
- 半角英数字
- 全角英数字
- 半角カタカナ
- 全角カタカナ
- 全角カタカナ

| | |
|-------------|-----|
| 全角カタカナ "ア" | |
| 半角カタカナ "ア" | |
| 全角英数字 " A B | 48" |
| 半角英数字 "AB | 48" |

④ 文節の使い方

文書入力をしていると、短い単語ならほぼ大丈夫なのですが、意図した変換をしてくれない場合があります。例えば「きょうはいしゃにいぐ。」と入力し変換すると「今日歯医者に行く。」または、「今日は医者に行く。」どちらかに変換されると思います。文字は文節単位に変換されますので、思い通り変換するには文節をコントロールすることが必要です。

- ① 入力（文字に点線の下線）
- ② 変換（文節ごとに実線で区切られる）
- ③ 文節の変更（Shift + ↑ ↓）
- ④ 変換

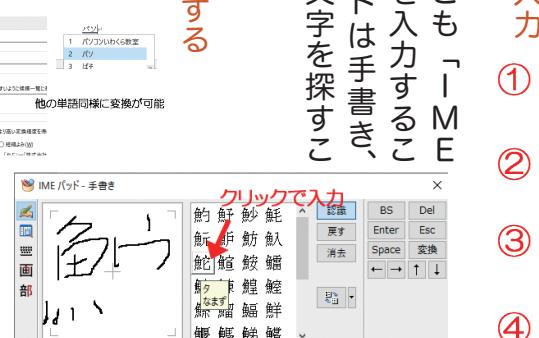
エンターキーを押して確定するまで、何度も行なえます。

⑤ 読めない漢字を入力する

読みがわからなくとも「IME パッド」を使い文字を入力することができます。パッドは手書き、部首検索などを使い文字を探すことができます。

⑥ 読みや単語を登録する

難しい読みの固有名詞や、よく使う語句を登録することができます。登録した読みで変換できます。



- ① きょうはいしゃにいぐ...
- ② 今日歯医者に行く。...
- ③ きょうは医者に行く。...
- ④ 今日は医者に行く。...

